

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

医療法人社団 日本鋼管福山病院

(2) 事業所の所在地

広島県福山市大門町津之下1844番地

(3) 業種

一般病院

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は平成23年度を基準年度とし令和4年度から令和7年度までの4年間とする

3 計画の基本的な方向

1.基本的な考え方

事業活動における温室効果ガスの排出削減やエネルギーの無駄・ロスを省き環境に配慮した医療活動を促進します。

2.方針

化学物質の適正管理と感染性医療廃棄物の適正処理の促進

温室効果ガス削減に関する院内教育

電気、灯油、重油等のエネルギー資源について適正な使用を徹底して行い二酸化炭素の排出量削減に努めます

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 (23) 年度	令和 (5) 年度
二酸化炭素	4,637	2,986

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 23 (2011) 年度)		削減目標		目標年度 (令和 7 (2025) 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO2	4,637	36.4	1,687	2,950		
非エネルギー起源CO2				0		
メタン				0		
一酸化二窒素				0		
その他 温室効果ガス				0		
温室効果ガス 実排出量総計	4,637	36.4	1,687	2,950		
温室効果ガス みなし排出量		-		2,950		
目標設定の考え方	古い空調機器の更新と温室効果ガス削減の為の情報提供					

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

延床面積26540m²

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 (23) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 (7) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	4,637		#DIV/0!	#DIV/0!			
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	燃料の使用を削減する	A重油の使用量を0.5%削減	・外気温、水温高い時の給湯ボイラーの温度を管理する
2	電気使用量の削減	電気の使用量を0.5%削減	・空調機器を省エネタイプに変更 ・蛍光灯をLED照明に変更 ・冷暖房温度の適切な管理 ・職員への省エネ教育
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

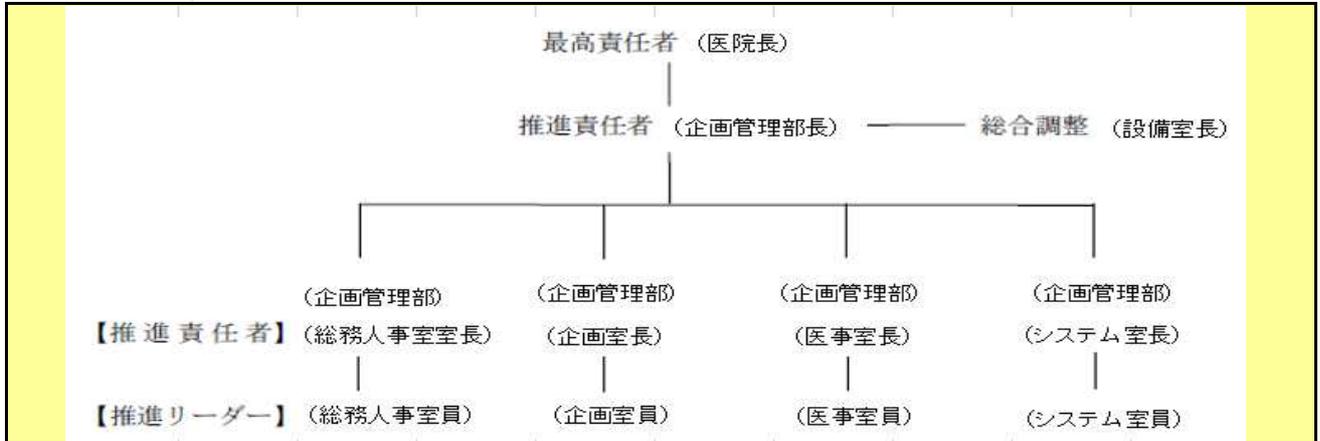
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

企画管理部設備室を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握、点検及び問題点の検討を行い環境対策連絡会議において定期的に評価、見直しを行い継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

企画管理部に備えて閲覧する。